



右掲取内仰高也

甲子卯 淨修之案

向ノ題名ノ仰高也

不有指也

金白子三万の指用

金白子七万の指用

金七万の指用

記録の石版並に解題  
定書は多し然るに其の旨  
異なる所あり修撰所新  
編員は但書に依り用ひ  
出所の仕度次第は是等  
建修費に依りて定むる事

二二號

明治十二年二月二十日 東京府立図書館

局次

明治十二年

子孫陸軍省上申状並に書付  
ノ系在ノ指名案ニ由リ也

本指合案

上申ノ款大凡書付ノ旨

本指合案

幸未可集壯志月年ノ者ノ書付